

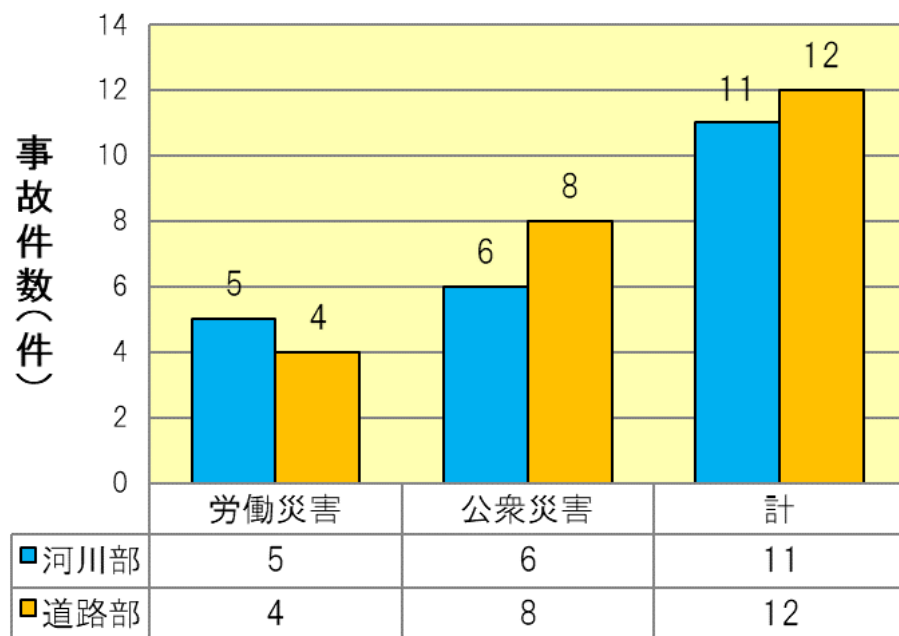
令和3年度中国地方整備局発注工事の事故発生状況

- 令和3年度の直轄工事における事故の措置件数は23件。河川部11件、道路部12件の措置状況。
- 労働災害は9件(死亡事故は1件(過年度発生分))、公衆災害が14件発生。
- 工事種別では、多い順に、河川工事が8件、河川・道路維持が6件(うち河川3件、道路3件)、橋梁下部工事及び道路改良工事、電線共同溝工事が各2件の発生状況。

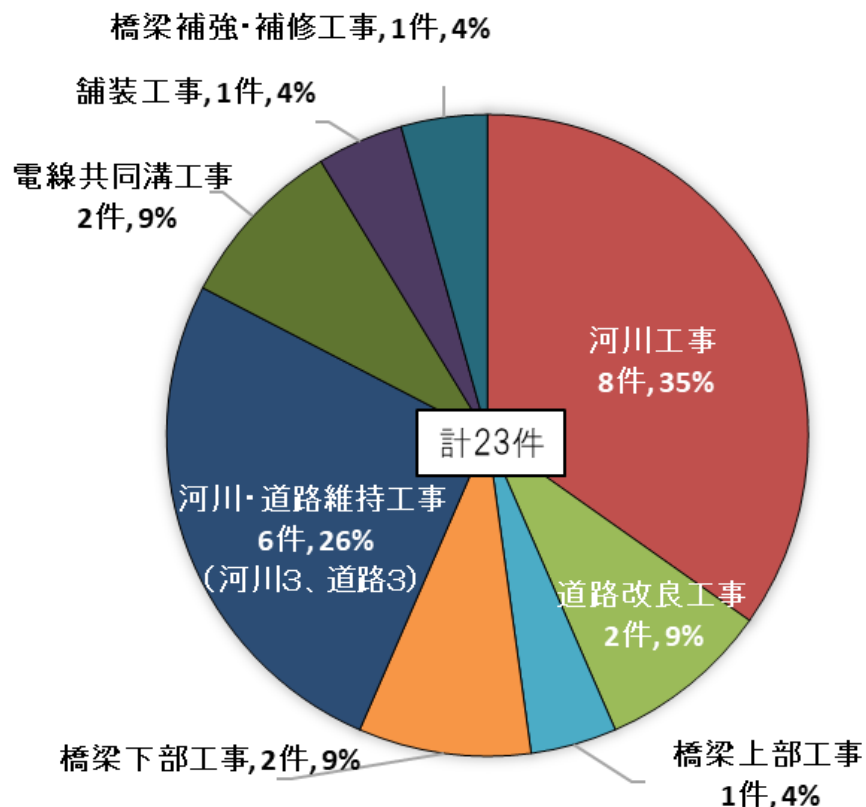
事故発生件数		労働災害	公衆災害
河川部	11件	5件	6件
道路部	12件	4件	8件
合 計	23件	9件	14件

(100%) (39%) (61%)

R3年度 事故発生状況



工事種別毎の内訳(種別、件数、割合)



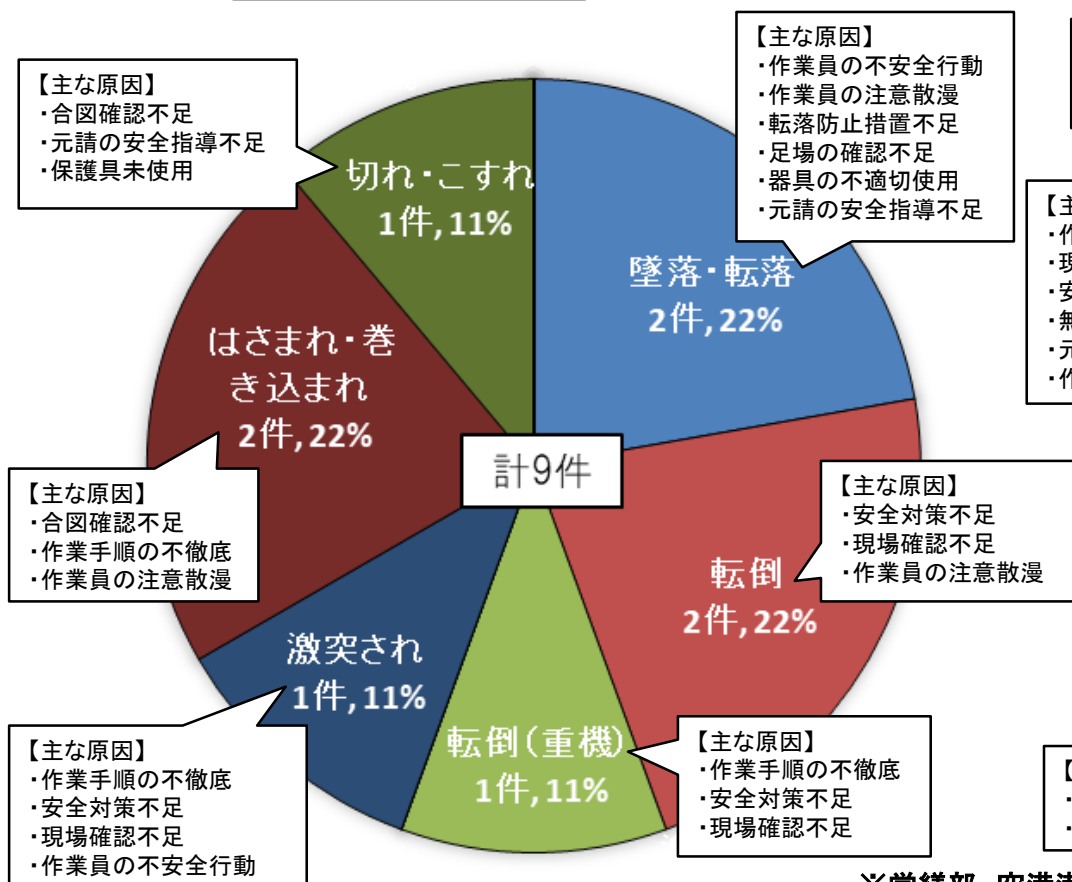
※営繕部、港湾空港部を除く工事事故で、
元請業者に安全管理措置の不適切があったもの

令和3年度中国地方整備局発注工事の事故発生状況

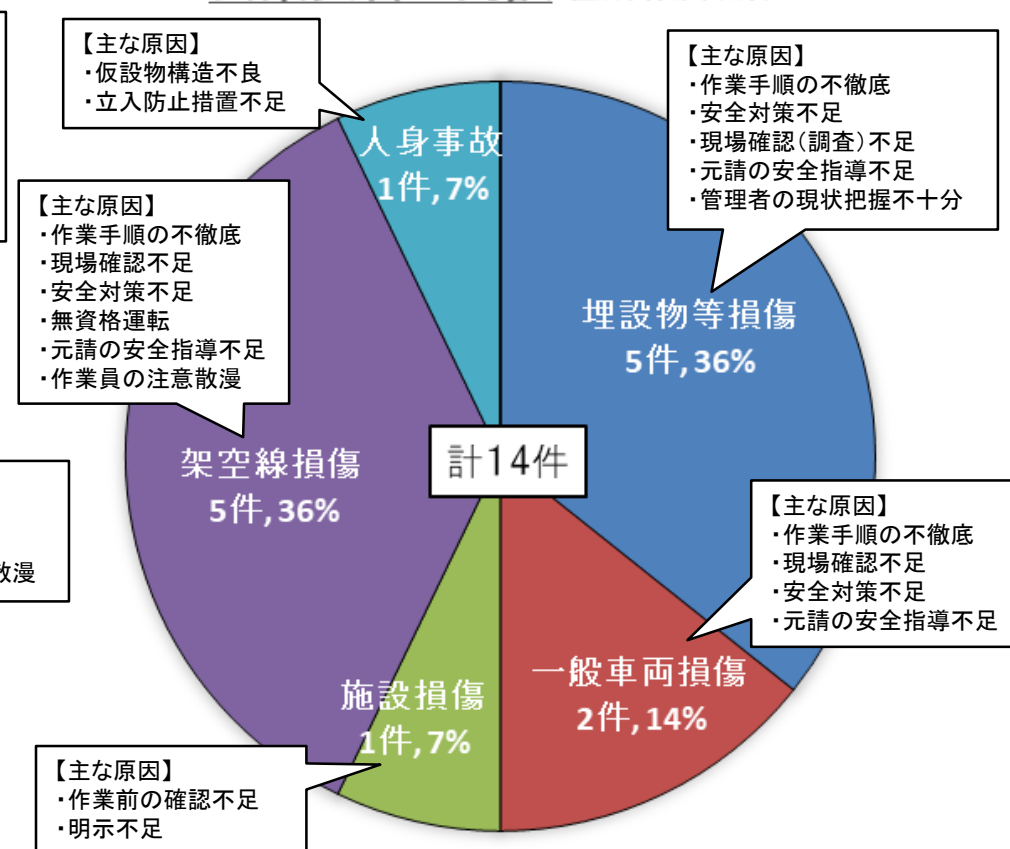
○労働災害は「墜落・転落」、「転倒」、「挟まれ・巻き込まれ」が各2件、「転倒(重機)」、「激突され」、「切れ・こすれ」が各1件発生している状況であり、「墜落・転落」のうち1件(過年度発生)が死亡事故となっている。

○公衆災害は14件発生しており、内訳は「埋設物等損傷」、「架空線損傷」が各5件、「一般車両損傷」が2件、「施設損傷」、「人身事故」が各1件発生しており、「埋設物等損傷」、「架空線損傷」が全体の7割程度を占めている。

労働災害の内訳(種別、件数、割合)



公衆災害の内訳(種別、件数、割合)

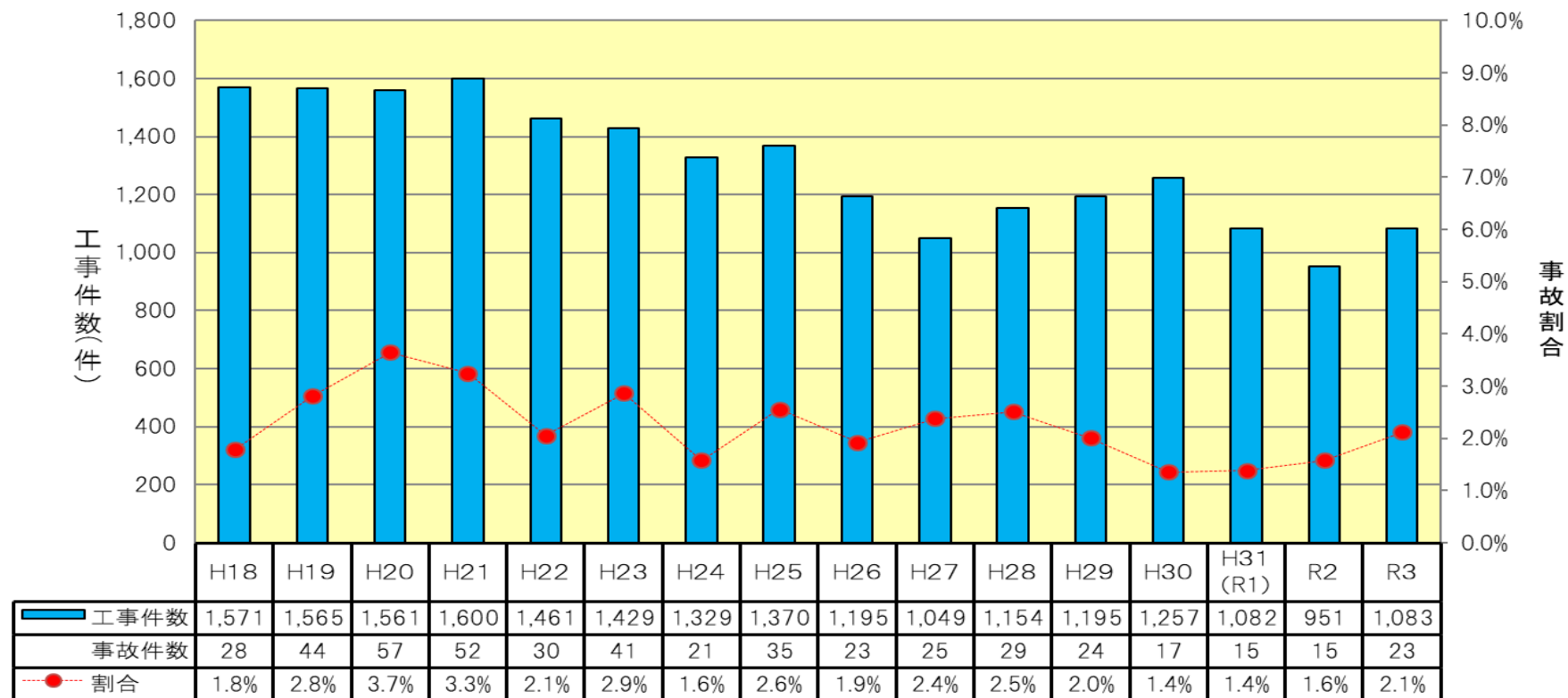


○令和3年度の工事件数に占める措置を行った事故件数の割合は2.1%で、令和元年度から増加傾向。

事故件数も昨年度より増加している。工事件数は増加しているが事故件数も増え割合も増加。

○事故の件数は、平成28年度から減少傾向となっていたが、令和3年度は再び増加。

工事件数と事故件数の推移

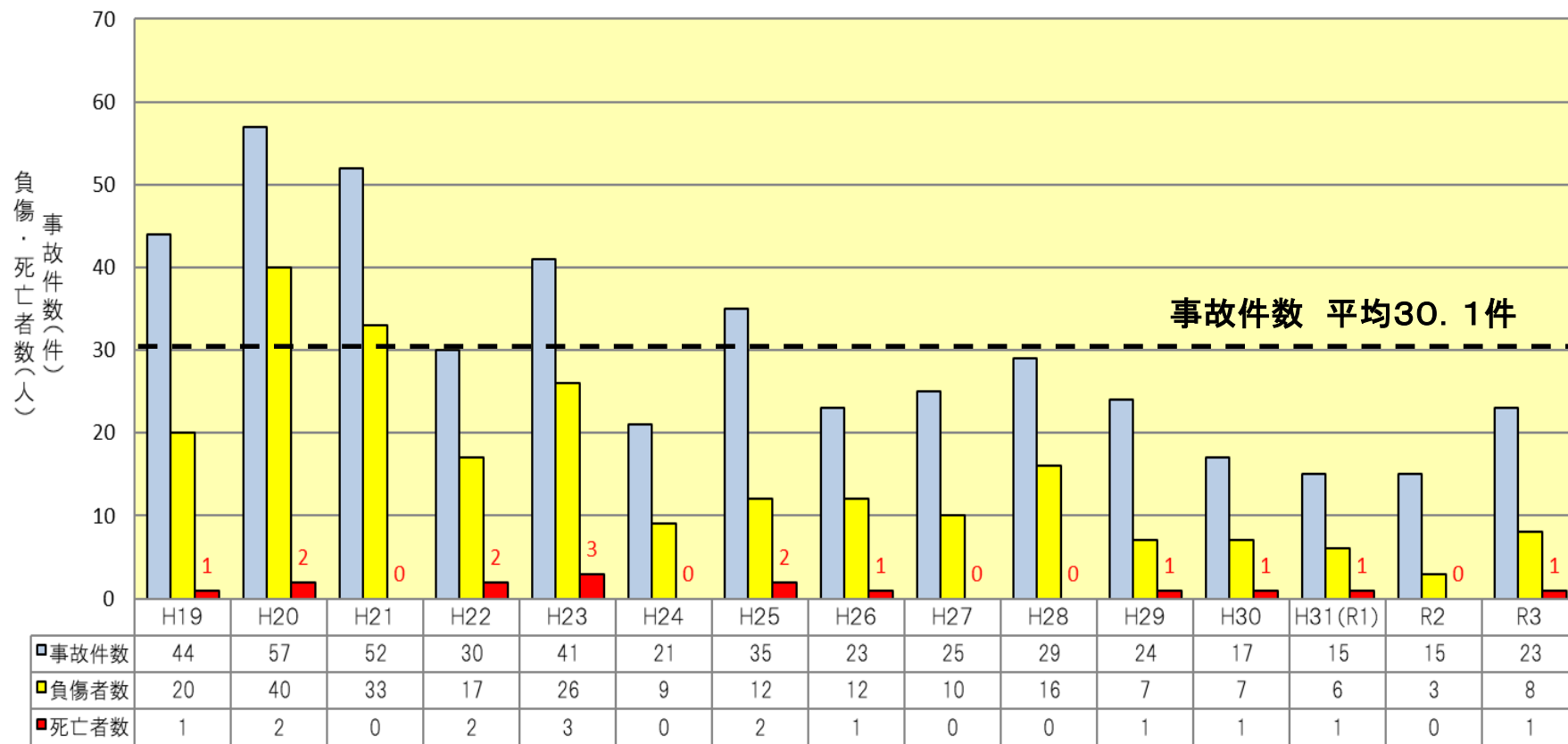


注1:工事件数は対象年度に工期に係る件数。(過年度発注工事を含む。) 注2:発生率は発生件数を工事件数で除した値。

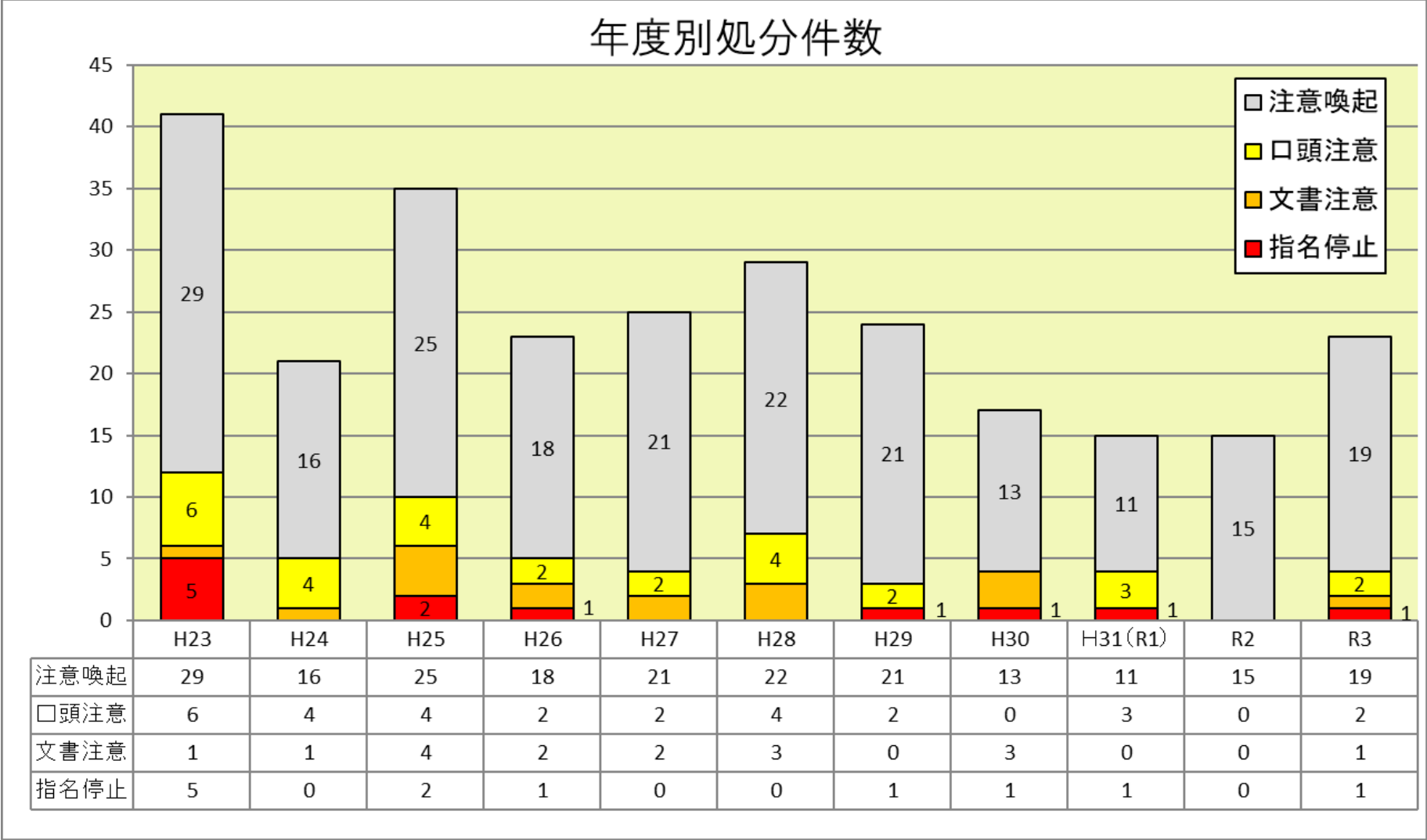
※営繕部、空港港湾部を除く工事事故で、元請業者に安全管理措置の不適切があったもの 3

- 過去15年間(H19～R3)の措置を行った事故件数は平均で30.1件の発生状況となっている。
- 事故件数は平成20年度をピークに減少傾向であったが、令和3年度は前年に対して増加。
- 負傷者は平成29年度以降、一桁台で推移している。また、令和3年度の死亡事故は令和元年度発生 of 事故案件分を計上しているため、実際には発生していない。

事故件数と負傷者数・死亡者数



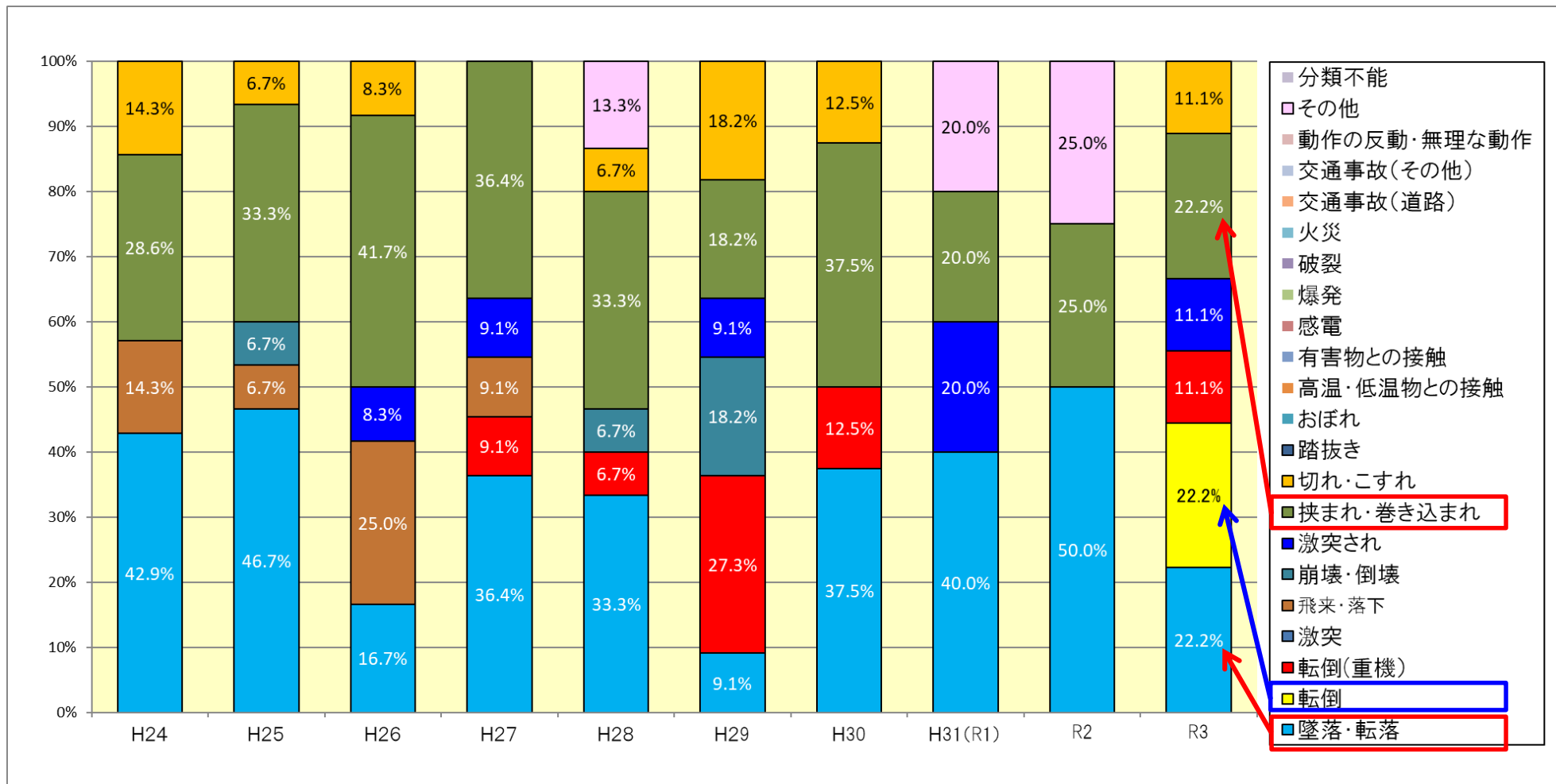
○令和3年度の事故後の措置は「注意喚起」が19件、「口頭注意」が2件、「文書注意」・「指名停止」が各1件。



※営繕部、空港港湾部を除く工事事故で、元請業者に安全管理措置の不適切があったもの
※指名停止の1件は令和元年に発生した工事で令和3年度に措置が確定したもの。

○「墜落・転落」及び「挟まれ・巻き込まれ」の事故は、毎年発生している。
昨年度は、現場内の安全対策不足による「転倒」が増加している。

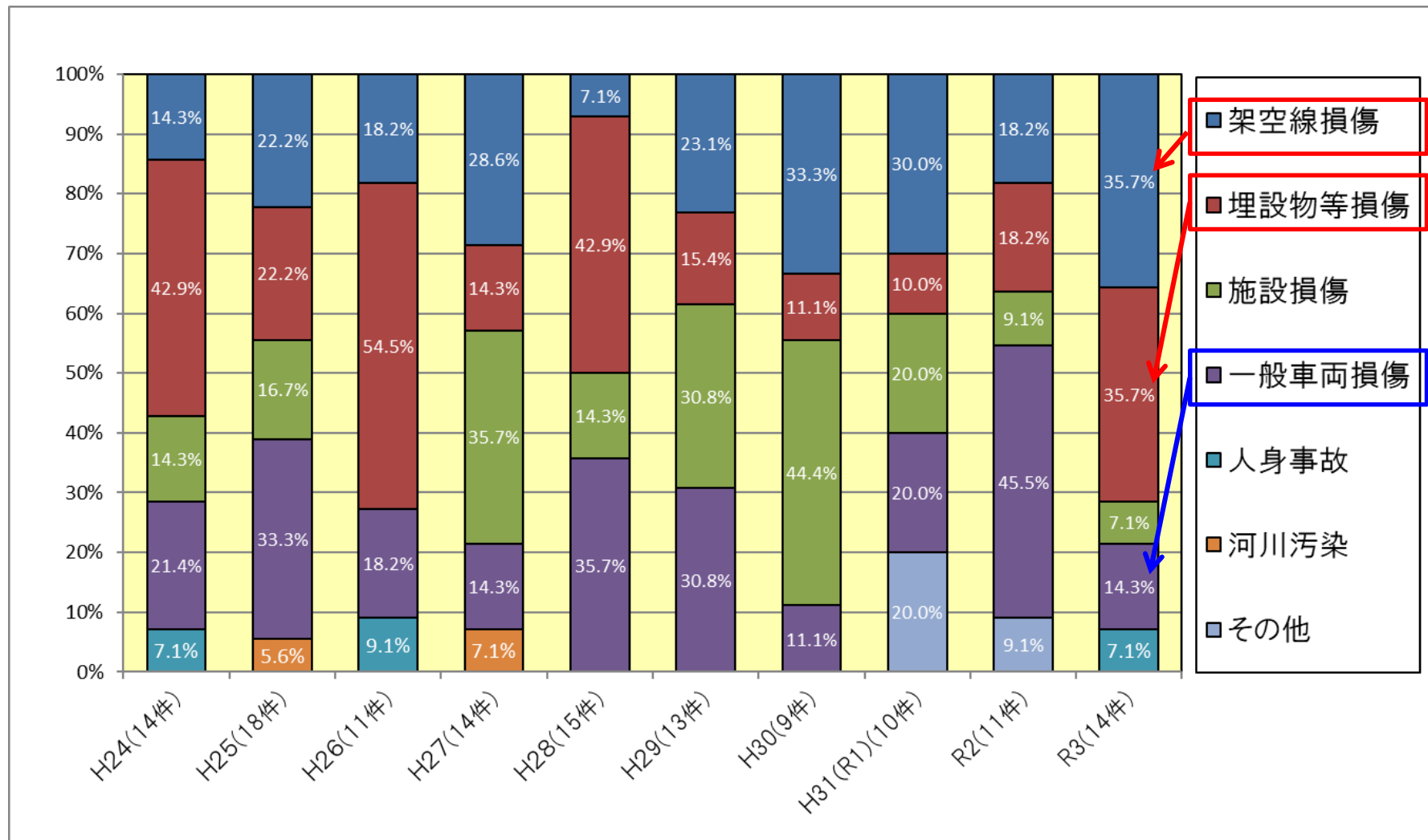
工事関係者事故(労働災害)の内訳



○令和3年度は、約70%が「架空線損傷」、「埋設物等損傷」事故となっている。

○令和3年度は、「一般車両損傷」の件数は減少しているが10年間連続で発生している。

公衆損害事故(公衆災害)の内訳

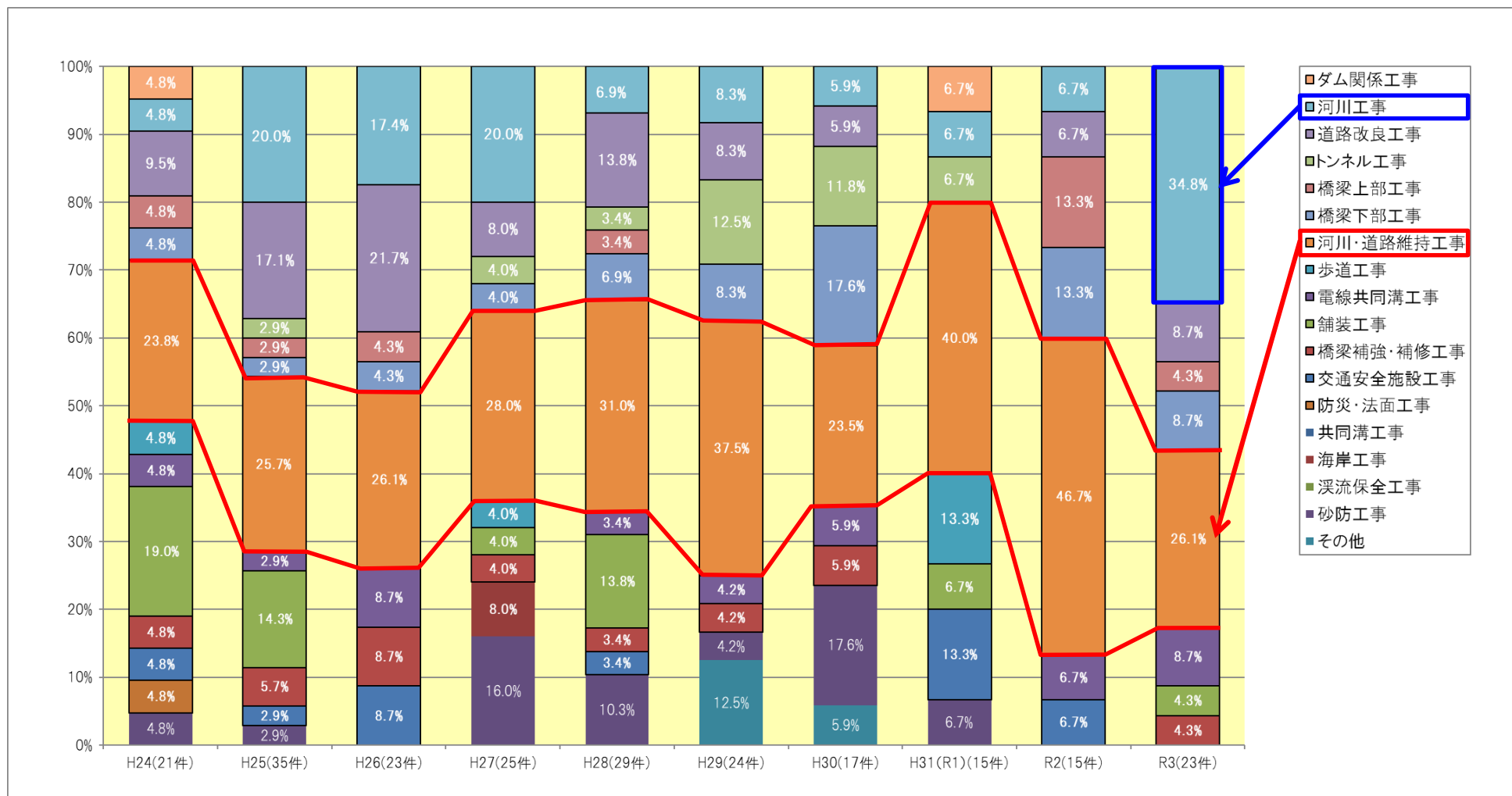


※営繕部、空港港湾部を除く工事事故で、元請業者に安全管理措置の不適切があったもの

○毎年、現場が広範囲であり緊急作業を伴う「河川・道路維持工事」での事故が多い傾向にある。

○令和3年度は、河川工事における事故が急増している。

事故における工事内容の内訳

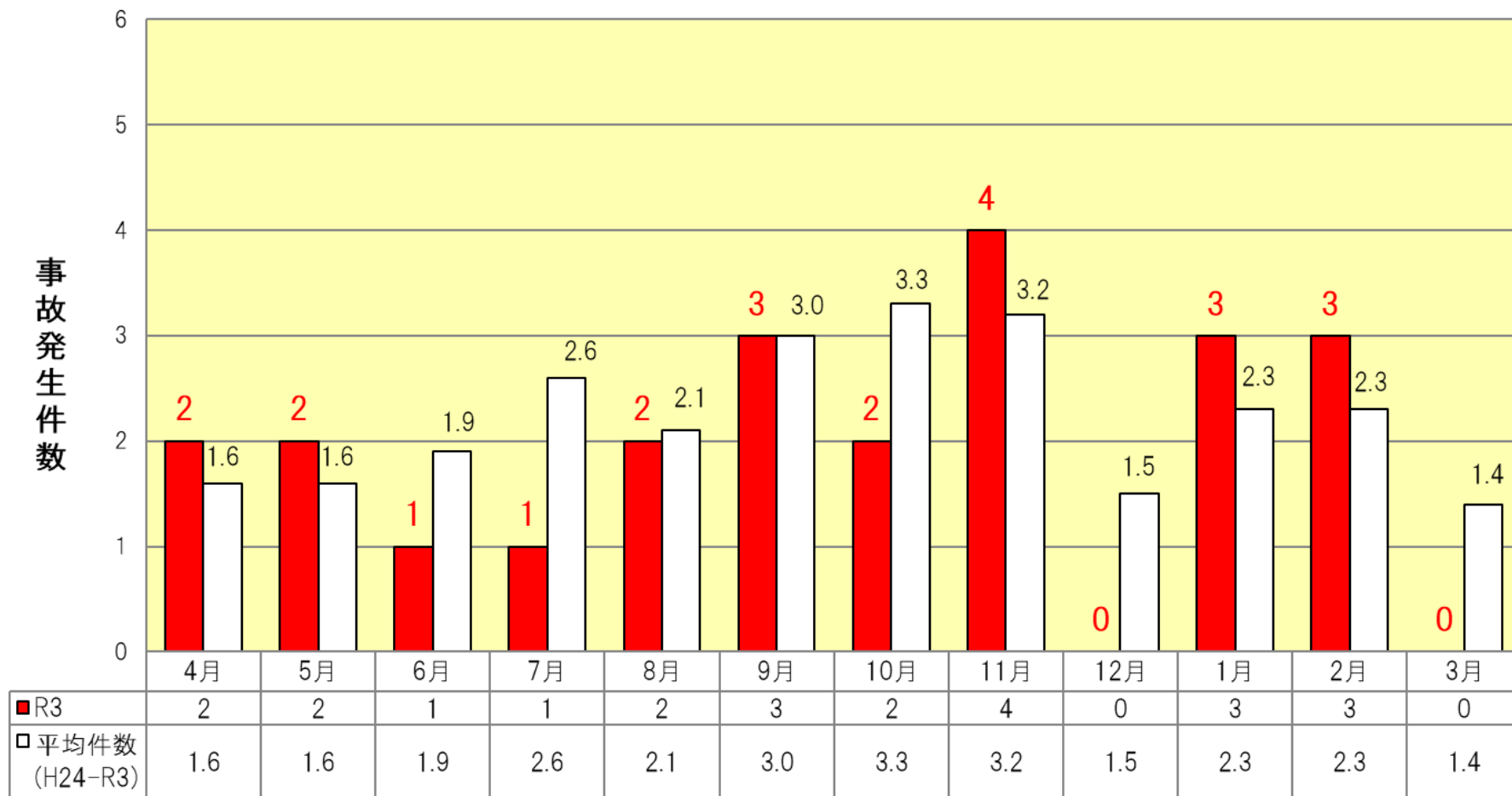


※営繕部、空港港湾部を除く工事事故で、元請業者に安全管理措置の不適切があったもの 8

○過去10年間(H24～R3)の平均では、10月の3.3件をピークとして毎月事故が発生している。

○令和3年度は、9, 11, 1, 2月に多く発生。発生件数ゼロは、12, 3月のみとなっている。

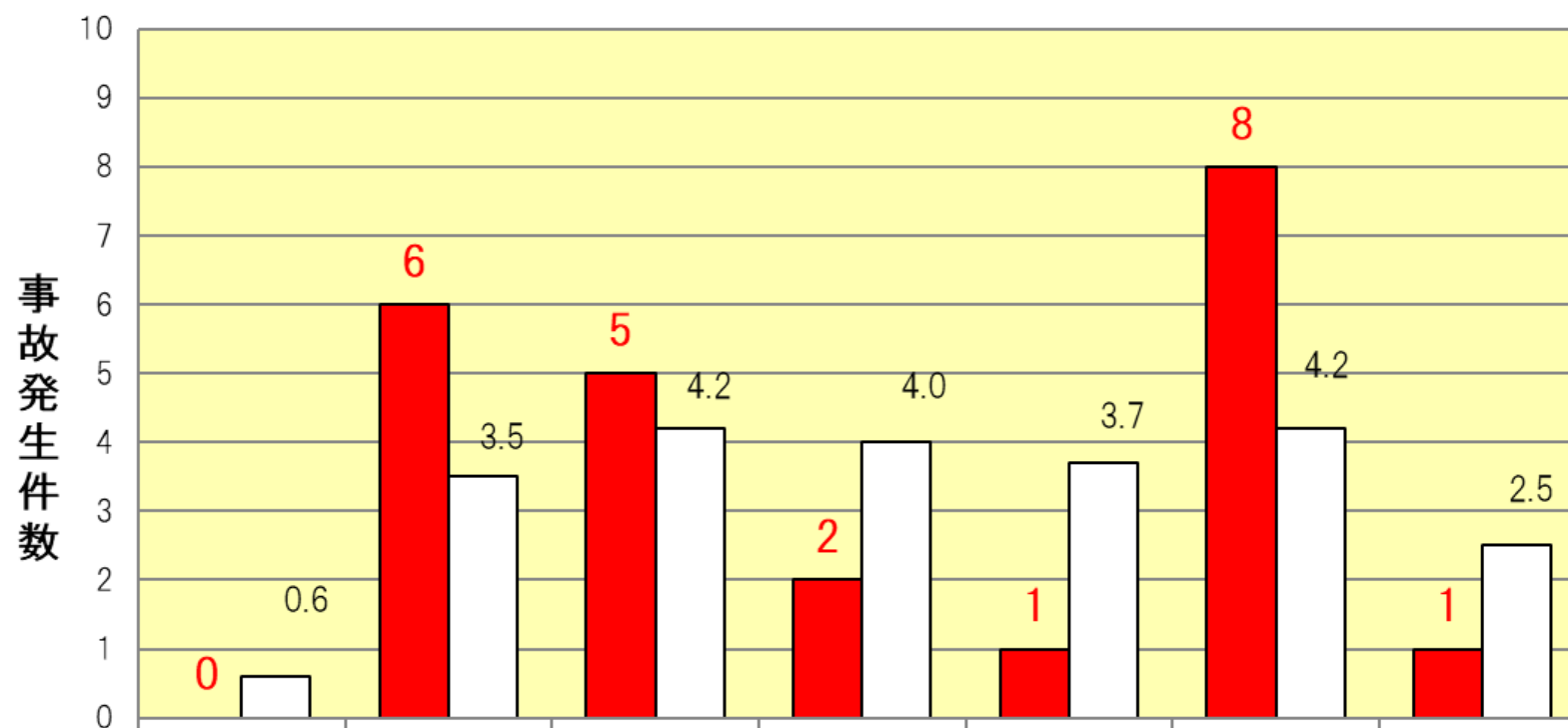
月別事故発生件数(H24～R3)



※営繕部、空港港湾部を除く工事事務で、元請業者に安全管理措置の不適切があったもの

- 過去10年間の平均では、平日は曜日に関係なく4件程度の事故が発生しており、火・金曜日が最も多い。
- 令和3年度は、月・火・金曜日に多く発生している。週休2日の普及によるものか土日の事故は減少している。

曜日別事故発生件数(H24～R3)

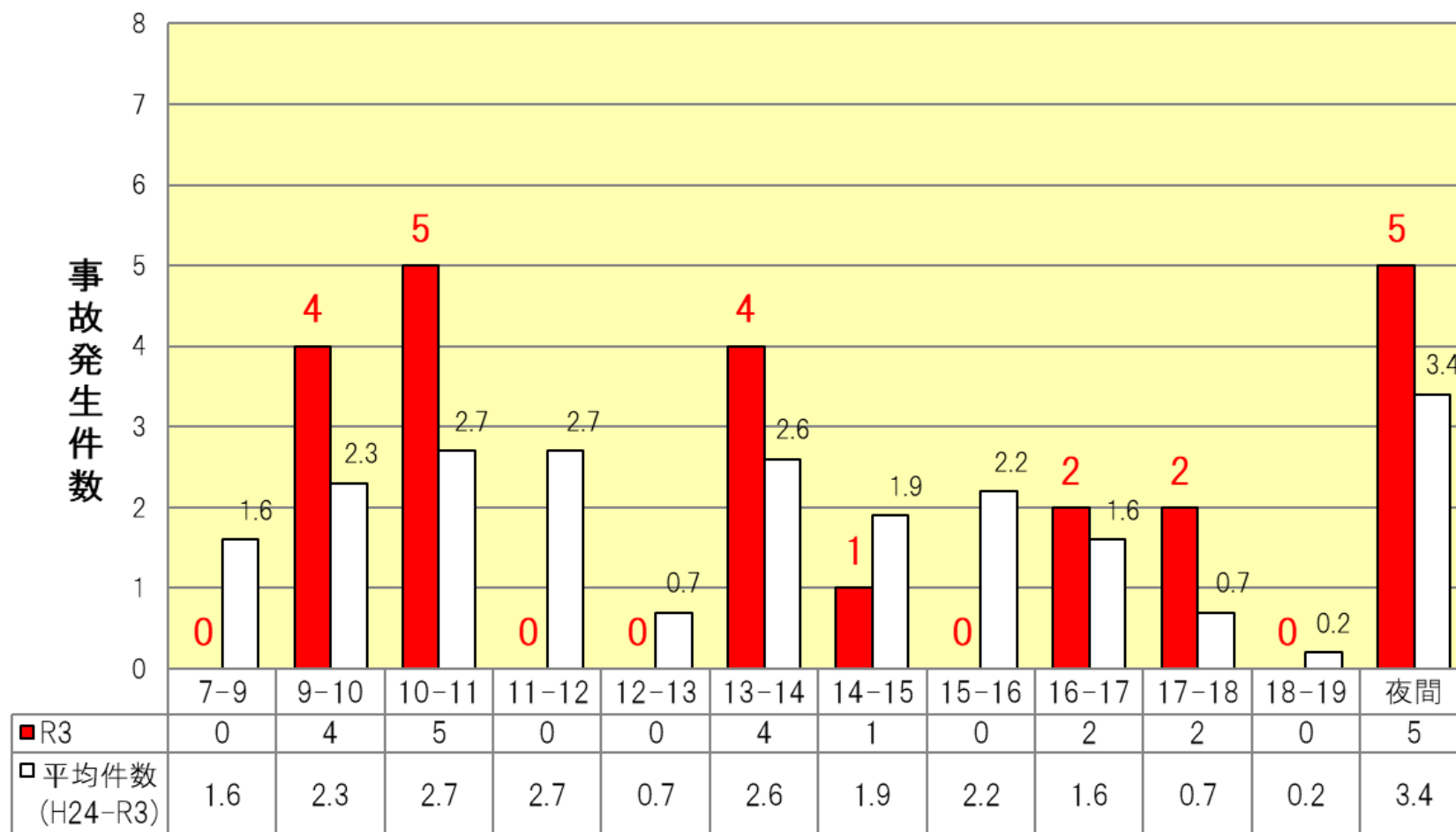


■ R3	0	6	5	2	1	8	1
□ 平均件数 (H24-R3)	0.6	3.5	4.2	4.0	3.7	4.2	2.5

○過去10年間の平均では、午前11時から12時までの時間帯での発生が多く、夜間の発生も多い傾向である。

○令和3年度は、午前中や午後一番の作業開始直後および夜間に事故が多く発生している。

時間帯別事故発生件数(H24～R3)



※営繕部、空港港湾部を除く工事事務で、元請業者に安全管理措置の不適切があったもの